

目次

碌山の親友・柳敬助	武井 敏……………1
二十五年ぶりの入館料金改定について	幅谷 啓子……………2
クラウドファンディング報告	幅谷 啓子……………3
クラウドファンディング支援者リスト	……………6
宮内良助の人生と《宮内氏像》の旅	郡司 美枝……………11
新資料紹介「土門拳による碌山作品撮影」関係資料	武井 敏……………21
《宮内氏像》のはぐみ	武井 敏……………22
追悼 山田芳弘 前顧問 碌山美術館の精神を支えた山田芳弘先生の死を悼む	所 賛太……………24
ストーブを囲んで 「碌山の兄・望月穂一」を語る	望月 雄内……………28
中原悌二郎の写真コレクション(二)	武井 敏……………35
彫刻家・森靖インタビュー	森 田 卓 靖……………51
令和四年 日記抄	……………63
サポートメンバーシップ参加法人	……………64
令和五年度企画	……………64
令和四年度役職員ほか	……………64

二十五年ぶりの入館料金改定について

館長 幅谷啓子

昭和三十三年の開館以来幾度か入館料を改定してきましたが、最後に改定したのは第二展示棟を開館した平成十年のことです。以後、消費増税や杜江館の開館の折などに料金改定がたびたび議論されましたが、実際それに踏み切ることはありませんでした。今回の改定は実に二十五年ぶりのことです。

多年にわたる入館者の減少に伴う入館料収入の減少傾向がつづくなか、平成二十五年以降の公益財団法人の移行を受け寄附金収入の拡大に取り組んできましたが、毎年数百万円の赤字が続き、それに追い打ちをかけるようにコロナ禍による入館料収入の激減があり、運営基盤を大きく揺るがしています。

当館は入館料収入と寄附金収入のみを財源とする全国でも稀な美術館です。昨年、喫緊の課題であった碌山館の雨漏りに対処するためクラウドファンディングに挑戦したのも、こうした運営事情によるものです。おかげさまで一〇八八名の温かいご支援をいただき、碌山館の修繕工事を無事完了することができました。ご支援の余剰金は今後構築物の維持管理等に大切に活用させていただく予定です。

ご存じのように昨今光熱水費等が高騰し、支出も増えつつあります。こうした時勢を受け、財政の安定化を図るため入館料金改定を決定しました。ご理解のほどをよろしくお願いたします。運営基盤を安定させることができたら、その後サービス向上に努めたいと考えております。